



大町市の企業紹介 17

—地域を支える地方企業—

毎月1日号の広報おまちで、市内の企業を紹介しています。内容は各会社から提出いただいた原稿を基に掲載しています。掲載を希望する企業は、商工労政課（〒199内線541）までご連絡ください。

今年こそ黒部ダムへ！

関西電力株式会社 黒四管理事務所

世紀の難工事と言われた黒部川第四発電所建設工事（通称・黒四）。その中でも特に困難を極めたのが、扇沢から黒部ダムに至る「関電トンネル」での大破砕帯との遭遇でした。この困難に先人達は、英知と勇気そして地元大町の皆様からの温かい励ましをいただき大破砕帯を7カ月で突破し、昭和33年2月に無事「関電トンネル」の貫通を見ました。昭和38年にはダムも完成し、その翌年からトローリーバスの運行を始め、これまで無事故・無災害での輸送を継続しています。

建設時の関電トンネルには大型の建設車両が往来し、トンネル内に排気ガスが充満したため、ダム完成後のお客様を輸送する手段として、電気で走り環境に優しいトローリーバスが採用されました。トローリーバスは昭和の初め、東京や大阪などの大都会でも走っていましたが、今では立山黒部アルペンルートの扇沢〜黒部ダム（関西電力）と大観峰〜室堂（立山黒部貫光）でしか走っておらず、大変めずらしい乗り物となっています。

今年には関電トンネル貫通から50年が経過し、フジテレビで「黒部の太陽」がドラマ化放映されるなど話題の豊富な年となります。4月10日のオープンから大町駅前、扇沢駅構内、黒部ダム駅構内にテレビドラマで使用されたジオラマが展示されます。地元大町市の皆様も、今年はずいぶんトローリーバスにゆられて、雄大な自然と、美しいアーチダムを堪能してみてください。



9月には「大町市民感謝月間」としてトローリーバスのお得な割引も予定しています。

- 所在地 大町市平2010・17
- 代表者 所長 木下健司
- 事業内容 運輸事業

立山黒部貫光株式会社

長野県と富山県を結ぶ立山黒部アルペンルート

当社は、立山黒部アルペンルートの黒部湖駅から立山駅までの交通機関を運行しています。

富山県の電力開発と立山の総合開発計画が実施され、昭和39年12月に黒部湖・室堂間建設工事と事業運営を目的に、関西電力、富山県、北陸電力等の出資による第三セクターとして設立され、昭和44年黒部平・黒部湖間にケーブルカー、昭和45年大観峰・黒部平間にロープウェイ、昭和46年室堂・大観峰にトローリーバスが開業し、同年6月立山黒部アルペンルートが全線開通したことにより、隣県でありながら交通路のなかった富山県・長野県が結ばれることとなりました。

平成17年10月には室堂・美女平間の高原バス、美女平・立山間のケーブルカーを運営する立山開発鉄道(株)と合併し、現在の黒部湖駅から立山駅までの運行となりました。

社名である「貫光」ですが、「貫」とは時間を、「光」とは

宇宙空間・大自然を意味し、中部山岳国立公園の大障壁を貫いて、時間と空間を縮め、地域の発展・振興に寄与することをあらわしています。

本年、「黒部の太陽」放送、6月「劔岳 点の記」放映等、立山黒部に注目が集まっており、これからも、立山黒部の大自然の魅力を国内外に発信し、長野県民感謝デー等イベントを通して大町市と連携をとりながら、地域の発展に貢献して参りたいと思っております。



- 所在地 本社・富山県富山市桜町一丁目1番36号
 - 代表者 代表取締役社長 中村憲史
 - 事業内容 運輸事業・構内販売事業
- 大町営業所 076・441・3331
 会社ホームページ
<http://www.alpen-route.co.jp/>